



特別な思いで臨んだ

ジャパンジュニア

都留第二中学校 尾島詩織

グラススキーを始めて5年目となる今年の大会は、今までの大会の中で一番練習をして臨みました。それは、「今年、絶対にFISグラススキーチルドレンキャンプの日本代表に選ばれて、世界に行きたい」と思っていたからです。そして、3日目のレース後の閉会式でチルドレンキャンプ派遣選手として、私の名前が呼ばれたときは、最高の気分でした。なんとか夢がかない、世界大会出場の切符を手に入れることができました。これも、コーチの方々やチームのみんな、グラススキー関係者、家族のおかげです。ありがとうございます。今後は、さらに練習に励み、チルドレンキャンプでは、世界トップレベルの技術を習得し、日本代表の名に恥じないように、また、今まで派遣された選手に続くような良い結果が出せるように努力したいと思います。

FISグラススキー

チルドレンキャンプ

毎年、FIS(国際スキー連盟)が開催しているグラススキーチルドレンキャンプは、世界におけるグラススキーレベルの水準を確認するほか、各国の子どもたちが互いに親睦を深めたり、異国の文化を肌で感じたりする事で、国際的な選手育成を目的としています。

都留市ジャパンジュニアグラススキー大会は、このチルドレンキャンプに派遣する選手の選考大会として位置付けられています。派遣対象選手の選考については、種目別の3位以内入賞選手を対象として、レースポイント2種目の合計で1位の選手を最優秀選手として選定しています。チルドレンキャンプは毎年8月初旬ごろ開催し、今年ドイツで行われました。



みごと日本代表として、チルドレンキャンプの切符を手にしました。



ジャパンジュニアを終えて

都留第一中学校 大澤 拓

私がグラススキーを始めたのは、冬のスキーが好きで、もともと上手になりたいと思っていたところ、父がグラススキーを勧めてくれたのがきっかけでした。

6月のグラススキー体験教室を経て、サンパーク都留グラススキージュニアチームに入った時、コーチが「2カ月後のジャパンジュニアグラススキー大会に出よう」と言いました。まだターンも上手くできなかったので大変驚きました。でも、コーチが「2カ月あれば大丈夫!」と言ってくれたので、不安でしたが、まずは完走を目指して毎週土、日曜日の練習に休まず参加しました。練習では、GSL(大回転)は完走できるようなりましたが、SL(回転)はなかなか思うように滑れません。そしてジャパンジュニア大会の直前になって、やっとSLを完走することができるようになりました。



グラススキーを始めて2カ月に挑んだ大会でした。

そしていよいよ、ジャパンジュニアが始まりました。1日目は全国からトップレベルのジュニア選手が集まってトレーニング。2日目から競技が始まり、まずはGSLセット、3日目SLセットの日程です。最初の競技GSLでは、完走できましたが、3日目のSLが不安でした。

そしてSL当日、思ったより緊張はしませんでした。とにかくターンの切り替えを早くすることを意識してスタートしました。1本目のタイムは遅くなってしまうましたが、2本目は思うように滑ることができました。

ジャパンジュニアへの出場と完走という目標は、無事果たすことができました。次のジャパンジュニア大会では、優勝を目指して、日々集中して練習に取り組みたいと思います。